

# 千葉青司協かわら版




平成25年1月7日発行

担当:西尾 浩一

## 【12月の行事報告】

2日(日)	<p><b>全国一斉生活保護110番(司法書士法人つばさ総合事務所)</b></p> <p>毎年恒例の生活保護110番。本会からは古田さん、高橋さん、肥田さん、西尾の4人が担当しました。相談件数こそ昨年を下回る9件でしたが、その内容は多種多彩でした。単なる受給の可否にとどまらず、昨今の生活保護関連の報道を受けてか、現在受給されている方からも現状に対する不安が多く寄せられました。なお、全国では総計430件の相談がありました。</p>  
3日(月)	<p><b>四青会(船橋商工会議所)</b></p> <p>平成22年以来の開催となりました。合同での勉強会ということになると3年ぶりということになります。勉強会の内容としては、発表順に</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 千葉青司協・・・全青司上田調査と「市民の中の法専門家」のあり方について <a href="http://zenseishi.com/info/2012-10-05.html">http://zenseishi.com/info/2012-10-05.html</a></li><li>2. 千葉青調会・・・筆界特定制度と調査士会ADRについて</li><li>3. 青法協・・・憲法第9条を巡る諸問題</li><li>4. 千葉青税・・・課税処分と憲法の関係(租税法律主義)</li></ol>   

	<p>どの発表も非常に興味深い内容となりました。また、当会の報告に対しては、他会より最終的な調査結果も是非知りたいという要望が寄せられました。因みにその調査結果については、今年3月2、3日に開催される「全青司ながの全国大会」にて発表予定です。みんなで行きましょう！</p> <p>懇親会についても四会でおおよそ40人が集まり、十分に交流を深めることができましたと思います。来年度は当会、そう、千葉青司協が当番会となりました。今年以上に多くの方に参加していただきたいと思いますので、請うご期待！</p>
18日(火)	<p><b>第6回役員会&amp;第2回千葉青司協クロニクル(船橋勤労市民センター)</b></p> <p>前半の役員会に続き、元会長の久保田先生、当時の会計担当の相葉先生をゲストにお招きし、後半約1時間半にわたりご講義いただきました。時代風景、世代の違いこそあれ、青年会を、ひいては業界を盛り上げようという思いは変わらないのだと実感しました。当日の貴重な資料もいただきましたので、希望される方は是非お声がけ下さい。まさに平成初期の活動内容を垣間見ることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

## 【1月の行事予定】

8日(火)	<p><b>第1回新人研修会(18時30分～ 千葉市民会館)</b></p> <p>新春行事第一弾、毎年恒例の新人研修会です。第1回は、前半1時間を既存会員によるパネルディスカッション、後半をフリー座談会とし、新人さんのあらゆる疑問にお応えしようという趣向です。前半のゲストは前田さん、古田さん、石川さん。激変したこの10年間の司法書士業界を語っていただきます。新人さんにとっては興味深い話になることと思います。</p> <p>研修後は新年会もあります。くれぐれあまり飛ばしすぎないように。。</p>
11日(金)	<p><b>第10回家族法改正勉強会(船橋勤労市民センター)</b></p> <p>早いものでもう10回目となりました、家族法の勉強会です。今回の担当は石川さんです。初めての方でも予習なしで理解できる内容となっています。ひょっとしたら新しい発見ができるかもしれません。なお六法だけはご持参下さいね！</p>

19日(土)	<b>全青司第4回代表者会議(福岡)</b>
20日(日)	私、西尾が参加してまいります。早いもので今年度最後の代表者会議。今年一年の締めくくりをし、来年度への足がかりとなります。千葉青司協と全青司の橋渡しとなるべく、いろいろな情報を持って帰ってきます！
21日(月)	<b>第7回役員会&amp;第3回千葉青司協クロニクル&amp;新年会(柏)</b> 実は新年会の本番(?)はこちらです。クロニクルのゲストは、地元柏・元会長の長谷川先生。およそ10年前、司法書士会にとっては激動の時期に会長を務められました。当時の秘話をたっぷりとお聞かせいただきます。日程・場所は後日MLにて告知します！
26日(土)	<b>全青司家族法改正シンポジウム(大阪)</b> 昨年11月の市民公開シンポに続き、今回は戸籍制度から親子・婚姻を考える興味深いシンポジウムが開催されます。家族のあり方、ひいては家族の多様化というテーマを、戸籍制度の検討という視点から考える内容となっています。詳しくは月報全青司12月号封入のチラシをご参照下さい。

## 【編集後記】

明けましておめでとうございます、会長の西尾と申します。

これまでの当協議会の各種活動へのご理解、ご協力、誠にありがとうございます。なんだかんだで今年度も、残すところ3ヶ月を切ってしまいました。会長就任1年目ということで、慣れないことばかりで運営に戸惑い、雑事に忙殺され、気がついてみれば全然自分の色は出せていないなあと反省ばかりが先に立ちます。年末から年始にかけて、今の時代の青司協のあり方、存在意義について様々な思いが浮かんで消え、また浮かんで消え、じゃあ結局お前さんはどうしたいのか。考えれば考える程答えから遠ざかっていくようでした。

様々な方から「会長のやりたいようにやればいいんだよ」という言葉をいただきます。じゃあやりたいことって？非常に逆説的かもしれませんが、それは会員の皆さんがこの青司協で何かやりたい、何かやってみよう、始めてみようと思わせる機会というか、きっかけを作ることなのかな、と思ったりもします。

結局のところ、千葉青司協というのは、私も含め、ある時期に集まった、事務所の経営も業務も全く異なる約80人の司法書士の“かたまり”にすぎないわけですが。本会は強制会です。政連なら政治家に対する働きかけ、リーガルなら後見業務のさらなる発展と、明確な目標があります。じゃあ青司協は・・・？会則には「市民の権利擁護および法制度の発展云々。。。とありますが、それは司法書士ならば誰もが持つべき心構えです。それを超えて集まっている理由が“何か”あるはずなんです。千葉青司協クロニクルをとおして、その答えに少しでも近づけるのでしょうか。

……何だかまとまりがありませんが、今月号の担当は西尾でした。ではまた！